

第8回「みんなの食堂 赤い屋根」+子ども食堂 報告

2021/9/17 (金曜日)

1. メニュー

肉じゃが、コロッケ、マカロニサラダ、コーンスープ、フルーツゼリー、ジュース、ごはん



おいしい顔って、どんな顔？



食事風景



グリーンゾーンガイドラインに基づき、飲み物はサーバーと紙コップで提供、二酸化炭素測定器、空気清浄器を使用し、コロナ対応実施

2. ご支援とご協力をいただいた皆様

一般社団法人 全国食支援活動協会様、全国農業協同組合中央会様

昭和大学様
アサヒ飲料様
青少年センター赤い屋根提供 子供用駄菓子



参加者にお持ち帰りいただいたフードパントリーと分け作業



子供用駄菓子





ご支援とご寄付で購入したフライヤーにて、アツアツの
コロッケ提供



受付風景

3. コミュニケーション広場



親子バスケット、バドミントン・卓球体験や中国民族楽器二胡の演奏、曲目は紅葉、赤とんぼなど



お持ち帰り品のお渡しと次回「みんなの食堂」開催とハロウィーンの工作づくりのお知らせ

「みんなの食堂+こども食堂」を開催する意味

コロナ禍で「おうち時間」が増えて、思うような外出もできず、市の公共施設も休館している状況を勘案して、「みんなの食堂+こども食堂」は、グリーン・ゾーン認証のガイドラインを徹底することを条件に開催した。

8月はさすがに、食堂での飲食、館内での活動はできないので、食育スタッフの心尽くしの弁当を配布するだけとした。保護者といっしょに来館した子どもたちは残念そうな様子であった。その代わりに、自然農園で採れた夏野菜やお米など関係者の皆さんからの食料支援の品々や本NPOが用意した花火などたくさん持ち帰っていただいた。

そのお持ち帰りセットをいつも手伝いに来てくれる子どもたちが、自発的に荷物運びの役回りを楽しそうに引受けてくれた。見ていて微笑ましくも頼もしくもあり、子どもたちの活躍に感謝である。

9月は時間短縮と換気を徹底して通常形で開催したが、たまたま県のグリーン・ゾーン認証の更新申請に伴う現地審査をパスして、2021年版の認証が許可されたタイミングでの開催となった。山梨県のお墨付きを得て、コロナ禍でも開催している県内唯一のこども食堂ということで、国会議員の参加もあり、激励とともに今後の活動に期待を寄せていただいた。